

かけはしんぶん

かけはしんぶん

2021年度 年間活動報告書



保護者からの感謝の声 ～まなべるいばしょ～



かけはしを^{ささ}支えてくださってるみなさまへ。

まなべるいばしょ^{りよう}を利用している子の保護者^この方からお手紙^{ほごしゃ}をいただき^{かた}ました。



しょうがく4ねんせい わたし むすめ はや はじ ころ ふあん つよ がっこう い
小学4年生の私の娘は、コロナが流行り始めた頃から、不安が強くなり、ほとんど学校に行けなくなりま
した。学校が休校から再開し、娘も行こうとしたのですが、教室には怖くて入れず、私と手を繋いで廊下
から授業を覗いたり、別教室で過ごしたりしていました。ぶるぶる震えながら、教室に入ろうとがんばる
娘は、とても辛そうでした。

わたしじしん だいす むすめ ことば むすめ ころろ いや
私自身も、大好きな娘に、どんな言葉をかけたら、娘の心を癒せるのか、
どんな対応をすれば本当に娘のためになるのか、と、悩む日々でした。

がっこう い ひ なが むすめ ひょうじょう
学校に行けない日が長くなるにつれて、娘の表情は暗くなり、

「みんなと同じように学校に行けない自分を責めているし、
ずっと学校に行けなくて、これから自分がどうなるのかわからなくて不安。
と言って、娘はダンゴムシのように床に丸まって、泣きました。

わたしじしん だいす むすめ ことば むすめ ころろ いや
私自身も、大好きな娘に、どんな言葉をかけたら、娘の心を癒せるのか、
どんな対応をすれば、本当に娘の為になるのか、と、悩む日々でした。

ひ わたし むすめ えがお みほんとう からだ うご だいす むすめ う
そんなある日、私はとにかく娘の笑顔が見たくて、本当は、身体を動かすことが大好きな娘のために、運
動ができる場所を探していました。娘には持病もあるため、心身ともに安心して運動ができそうなどこ
ろを探して、区のこども支援に相談したところ、かけはしを紹介して頂きました。

むすめ はじ な ばしょ ふあん ひろせ ほんとう たの いっしょ
娘は、初めは慣れない場所で不安そうでしたが、もじゃくん(廣瀬さん)が、本当に楽しそうに一緒にサッ
カーをしてくれて、久々に楽しそうな娘の姿が見られました。かけはしでも最初はなかなか部屋には入れ
ず、廊下にいる娘の為に、スタッフの方も廊下に出て一緒に遊んで下さいました。どのスタッフの方も、
ほか こども むすめ う い くだ あいじょうも せっ くだ
他の子供たちも、娘のそのまますけ入れて下さり、愛情を持って接して下さいました。

すこ むすめ ころろ ひら ま あた いばしょ い ひ こころま
少しずつ、娘は心を開き、いつの間にか、「かけはし」という温かい居場所に行く日を心待ちにするよう
になりました。学校には今も行っていないが、明るい笑顔が増えて、ご飯をたくさん食べるようにな
り、体も大きくなりました。「かけはしでお友達が出来た！」と、嬉しそうに話してくれました。

じぶん う い あた まなざし なかま いばしょ
そのままの自分を受け入れてくれる、温かい眼差しがある、仲間がいる、居場所がある。

むすめ えがお い ちから あた
そのことが、娘に、笑顔で生きる力をたくさん与えてくれました。

すばらしい いばしょ つく くだ ひろせ はじ かたがた こども ほごしゃ
このような素晴らしい居場所を作って下さった廣瀬さんを始め、スタッフの方々、子供たち、その保護者
の皆さん、ご協力くださっている全ての皆様に、心より感謝しています。

ありがとうございます。

(小4 T.M. 母)

1、学校に行け（か）ない子どもを支えたい

子ども×社会～安心して自分らしくいられる場所～ まなべるいばしょかけはし

学校に行け（か）ない子どもが、ボランティアや他の子どもたちと一緒に思い思いに過ごしています。小学1年生から中学2年生までが参加していて、「みんなちがう」ということが当たり前。大切にしているのは、やりたいことを「自分で決める」ということです。ボードゲームをしたり、問題を解いたり、小物づくりをしたり、ドッジボールをしたり、おしゃべりをしたり…。安心してできると、自然と友達とのかかわりが生まれて、関係を広げたり、深めたりする姿がありました。

140回開催 参加者のべ958名



子ども×子ども×体験～子どもが「やりたい」と思ったら、すぐ計画～ イベント

子どもたちが「こんなことをしたい」と話してくれたときに、すぐにその思いが実現できるようなイベントをつくります。

【これまでのイベント】

- ・秋の遠足（大和ゆとりの森、湘南台文化センター）
- ・デイキャンプ（ベリーキャンプ場） ・クリスマス会
- ・ごみ拾いイベント（江の島） ・お正月イベント
- ・節分イベント ・冬の遠足（江の島）



子ども×大人×体験～なかなかできないワクワク体験～ 特別講座

子どもの興味関心を引き出す特別講座をまなべるいばしょ開催時間や土曜日、日曜日に行っています。自由に参加できます。

【これまで開催した講座】

- ・筋肉講座 ・和菓子とお天気講座 ・カメラ講座
- ・模型講座 ・サッカー講座 ・ダンス講座 ・料理講座
- ・ロボットと遊ぼう ・DIY講座（ペンキ塗り、壁塗り）
- ・サッカー講座 ・ダンス講座 ・料理講座 ・絵の講座



子ども×自然～太陽と土の恵みでこころを元気に～ わくわくのうえん

かけはしでは現在4区画の畑を管理しています。子どもと保護者、ボランティアで野菜を栽培しています。

【これまで育てた野菜】

- ・ピーマン ・ナス ・ミニトマト ・大豆 ・サツマイモ
- ・トウモロコシ（ポップコーン） ・モロヘイヤ
- ・大根 ・じゃがいも ・ヤーコン ・シソ など



さつまいもほり2日開催
参加者47名

子ども×親×学校～子育てを一緒に考えサポートするための窓口～ なんでも相談

代表のもじゃくん（廣瀬）やちー（廣瀬）が、電話や対面で相談を受けています。お話をじっくり聴き、一緒に考えます。相談される方が必要とされる場合は、サポート団体や関係機関をご紹介します。

また、親御さん同士がつながり合えるオンラインでの交流会「大人のかけはし」を2回開催。子どもたちも何名か参加してくれました。初回は10名以上の方が参加してくださり、楽しいおしゃべりで交流。2回目は、「かけはしの活動でこんなことができたらいいな」などのリクエストを出し合いました。とても盛り上がりました。



相談者57名

2、こどもたちの可能性や世界を広げたい

こども×プロフェッショナル×仕事～魅力的な大人や仕事と出会う～

こどもキャリア大学

小学4年生～中学3年生を対象に、仕事について知ることができるワークショップを開いています。様々な職業のプロフェッショナルの方を講師にお招きし、人生の話や仕事の話を通して、こどもたちが魅力的な大人に出会い、知見を広げ、将来を楽しみに過ごせるようにプログラムを作成しています。



全8回講座
受講者25名

こども×身近な社会×世界～世界を結ぶ、助けよう未来を～

かけはしプロジェクト

小学5年生～高校生までのこどもたちが、自ら問題や課題を発見し、仲間と対話しながら自分たちでプロジェクトを立ち上げ、活動しています。小児がん支援のレモネードスタンドの活動を広めたいと考え、瀬谷区本郷公園でイベントを開催したり、戦争問題について議論したり、環境問題を解決するための体験的なイベントを企画したりするなど、主体的に活動しました。



10回開催
プロジェクトメンバー20名

3、地域の中でこどもたちを支えたい

地域×地域～横のつながりでこどもや保護者の支援を～

泉区こどもの居場所連絡協議会

情報共有と地域全体でのサポートを目指して、かけはしが声をかけ発足した組織です。公設・私設の団体が、共に運営しています。



3回開催
参加18団体

こども×若者×地域～創り上げる喜び・交流する喜び～

かけカフェ「COME HOME」

下和泉地区の一戸建てをこどもたちやボランティア、地域の方々、企業の方々の手で大幅リフォームし、地域のかかわりを大切にしたい地域カフェをオープンする計画です。学校に行きづらい子をもつ親の会「ハピネス」との協働事業として行っています。



かけはし×地域～地域の居場所で共に支え合う～

地域の居場所支援

泉区のこどもの居場所とつながり、学習支援などを行っています。フリースペースい・ず・みでの農業体験の支援、「しもづく広場」の運営支援、泉区内のキッズクラブでの放課後学習支援、宮の前テラスで夏休みの学習支援や各種講座を実施しました。



4、居場所でのこどもたちの姿を伝えたい

居場所×社会～より多くの方々に居場所のことを伝えていきたい～

広報・啓発活動

かけはしライターの3人のボランティアスタッフを中心に、かけはしすべての活動についてホームページのブログで発信したり、代表が講演活動を行ったりしています。

居場所×学校～こどもを中心に居場所と学校のかけはしに～

学校連携

一人ひとりのこどもの状況は各学校と共有されており、まなべるいばしょを出席日数として認めている学校も多いです。

学校訪問のべ71回

「こどもキャリア大学」

全8回の連続講座を実施しました

講師の仕事に対する想いや、人生観をひも解く「こどもキャリア大学」は、無事に全8回の講座を終えることができました。



ホワイトボードに自分の考えを書き、見せ合うこどもたち

運営面、資金面などまだまだ課題はあるのですが、来年度も皆様の力をお借りしながら、引き続き開講したいと思っています。

小学4年生から中学3年生のこどもたちを対象に、仕事の一端を疑似体験できるワークショップや、講師の生き方そのものに焦点を当てたプログラムが実施されました。毎回異なる職業の講座は、興味のあるなしに関係なくこどもたちを引き込み、たくさんの質問が出ていました。

テアトルフォンテが開講場所でしたが、自宅からもオンライン参加ができ、コロナ禍であってもこどもたちは新たな刺激を得られたのではないかと思います。

◆ 受講者（こども）の声

あのあと英検4級受かりました！先生のようになら私もこれからどんな様々なことにチャレンジしていきたいです。

（第3回通訳案内士さんの講座を受講して）

◆ 「仕事をやっている感覚がない」「失敗は別にいいと思う！失敗すればしなかつたよりも成功に近づく」という二つの言葉がすごい魅力的でした！

その一つでもある「仕事をやっている感覚がない」という言葉がすごい魅力的でした！自分が楽しいと思う職業に就けばいいと思います。

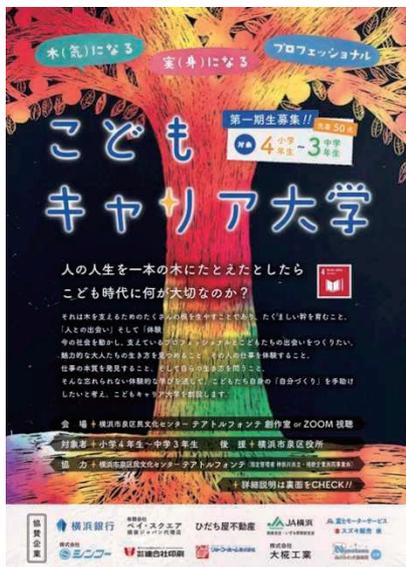
（第6回専業農家さんの講座を受講して）

◆ 保護者の声

送られてきた教材を開いて、当日までのワクワク感があり、とても良いと感じます。なかなか話を聞くことができないようなお仕事も、講師の方たちと出会えることが、とても楽しい様子で、ほかの用事で被って、どっちに参加する？と尋ねたら、「こどもキャリア大学！」と即答でした。

◆ こどもたちの知識欲、想像・創造力に、スタッフ一同毎回驚かされ、手ごたえも感じていきます。

こどもキャリア大学の様子はホームページのブログでも確認できます。



ご案内 会場は公共施設などに置かせていただきました

ちいき 地域カフェ「かけカフェ」

かけはしでは、学校に行きたくても行けない子どもたちが、安心して、自分らしく過ごせる場をつくりたいという思いで、曜日ごとに公共施設をお借りして居場所づくりを行ってきました。そんなとき、拠点になれば、と1軒の空き家を紹介していただきました。家主さんからは、「この家は、昔、こどもの友達がたくさん遊びにきて、いつもにぎわっていたんです。」「自由に改装してもらっていい。地域のためになるならうれしい。」「とのお話を受け、お借りしました。

地域で活動するためには、まず地域の方との信頼関係を築くことが必要でした。そんなとき、学校に行きづらい子をもつ親の会ハピネスの方が、声をかけてくださいました。「不登校を経験した若者が、アルバイトや就職をすることに不安を抱えている現状がある。ゆるやかに社会とつながる場として、カフェを開きたいと思っていんです。」「不登校を経験した若者にとっても、地域の方や子どもたちにとっても、かけはしの子どもたちにとっても、プラスになる活動にするにはどうしたらよいか。

2021年、夏。

実行委員が集い、意見を話し合いました。わたしたちが出した答えは、「こどもから大人までがゆるやかにつながり、あたたかなかわりが生まれる地域カフェ」です。



「かけカフェ」のコンセプト

1 地域のこどもから大人までが安心して気軽に集える場をつくる。



2 不登校を経験した若者など、働くことに不安を抱えている若者が、アルバイトとして働き、ゆるやかに社会とのつながりを築く場をつくる。

3 地域の方が得意なことで講座を開いたり、イベントを企画したりして、困りごとを解決したり、生活をより豊かにしたりできる場をつくる。

おもに賛同してくださった地域や企業の方と、

地域やかけはしのこどもたち・スタッフが協働し、DIYで、空き家を改装してきました。これまでに、総勢100名ほどの方にかかわっていただけた一大事業になっています。

プロの技を間近で見る感動。自分の手でつくり出す喜び。生まれるあたたかなつながり。こどもたちは、夢中になり、エネルギーに満ちていました。オープン目標は4月の終わり。地域の方も「楽しみにしているよ。」「と声をかけてくださいます。



ご協働くださった地域のみなさま・企業さま・行政のみなさま、そしてこどもたち、ありがとうございます！

みなさまの想いが詰まったこの家で、あたたかな場をきつとつくることができます！と確信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<https://kakahashi.link>



ご挨拶

感謝を込めて

みなさま、一般社団法人かけはしの取組に対して、あたたかいご支援を賜り、本当にありがとうございます。学校に行きづらいごどもたちの居場所づくりをはじめ、一年が経とうとしています。皆様からいただいたお気持ちを力にして、この激動の一年間を全力で走り続けることができました。

一人の中学生ではじまったかけはしの居場所に、だんだんとごどもたちが来てくれるようになり、笑顔が少しずつ見られるようになってきました。

そして、ごどもたちが、

「こんなことをしたい」

「こんなところにいきたい」

「こんな自分になりたい」

「こんなものを描いたよ」

「こんなものを作ったよ」

「こんな目標を決めたよ」

と自分の思いや願いを話してくれるようになりました。

かけはしスタッフである私たちは、それがないにより嬉しくて、一人ひとりの願いや思いをいっしょに実現する方法を考え、応援したり、感動したりしてきました。

「ごどもたちにとことん寄り添いたい」

それが、かけはしの原点であり、これからも変わることはありません。



私がこの一年間で連発した言葉は、

「奇跡が起きた！」でした。ごどもたちとの出会いも、これまで出会ったことがある方との再会も、たくさんの方々との偶然の出会いも、奇跡のような繋がりの中で、私は生きていたように思っています。

本当に感謝しかありません。

今後も、ごどもたちが安心して居場所づくりに全力で取り組んでいきます。また決して感謝の気持ちを忘れることなく、地道に一步一步、かけはしの歩みを進めていく決意です。そして、人と人を繋ぐ「かけはし」になれるよう、全力で走り続けます。

今後とも、変わらぬご支援をいただけたら幸いです。本当にありがとうございます。



一般社団法人かけはし代表理事

廣瀬貴樹

ご支援くださったみなさまへ

2020年度、かけはしの活動への賛助・ご協賛をいただきまして、誠にありがとうございました。

立ち上げたばかりにもかかわらず活動を展開できたのは、たくさんの方々のご賛助・ご協賛によるものと、心より御礼申し上げます。

これからも、こどもたちが安心してながら、自分自身を信じる力と自分の可能性を切り拓く一助となるよう、尽力して参ります。

賛助会員（企業・団体）

認定NPO法人アークシップ
株式会社早樂
株式会社鴨脚
トラストバンク株式会社
LTRコンサルティングパートナーズ事務局

賛助会員（個人）

いちださま ほりきりさま はやしさま
すぎもことさま いけださま なかじまさま
みやもことさま みやじまさま にしむらさま
いかわさま あさひなさま まつもとさま
いしもことさま おおもりさま ますださま
いわせさま しげたさま かもさま
いしかわさま いたうさま たかやさま
とこよださま こみさま さとうさま

まなべるいばしょ運営協力

下和泉地域ケアプラザ 泉図書館
いずみ野地域ケアプラザ 上甲ゼミ
いちようコミュニティハウス
横浜市社会福祉協議会
和光大学齋藤さま

いばしょボランティア

いまいちゃん てんちゃん いのちゃん
ばばちゃん ふじふじ まゆりん
すみ とまと さやちゃん おんぬ
マツト ジョン はるるん ひしくん
なおちゃん ゆき かなちゃん
さやちゃん そうちゃん たいろん
があこ てつちゃん よつこちゃん
セーガー サツキー ケント けい
ゆづちゃん あけみん みみちゃん
よつしー たかちゃん みーちゃん

特別講座・イベント協力

岩瀬さま 岡田さま 松野さま 今井さま
吉野さま 川村さま 井上さま あみさま
滝川さま 増田さま 堀内さま
口田さま 小澤さま 斉藤さま
笠原さま 古賀さま 永山さま
株式会社アールイーライフ
ゆめが丘ベリーキャンプ場
前田さまご家族 鈴木さまご家族
りようさま こーせいさま かずきさま

こどもキャリア大学協賛

横浜銀行
株式会社大槻工業
「V」横浜和泉支店・いずみ野駅前支店
ひだち屋不動産

株式会社シンコー

富士モーターサービススズキ販売泉
有限会社ベイスクエア損保ジャパン代理店
株式会社ぬのかわ犬猫病院
リョーコーホーム株式会社
株式会社連合社印刷

こどもキャリア大学運営協力

横浜市泉区文化センターテアトルフォンテ
のうえんボランティア
滝川さま 増田さま 川嶋さま
こいけさま こかいさま 美濃口さま
くまがいさま きりさわさま

松本さまご家族 大槻さまご家族

かけはしライター

まっちゃん 蒲さま 小松さま

空き家DIY協力

口田さまご家族 甲斐さま 小川名さま
滝川さま 増田さま 大石さま
大門小・下和泉小卒業生の方々
堀内さま 池田さまご家族 森川さま

空き家DIY協力

株式会社シンコー

口田左官

山本工務店

エヌファシリティー

斉藤畳屋

株式会社ミツバ

便利屋戸塚泉区119番

高梨電気

東京ガスライフバル横浜戸塚

村上建築

日本住宅ツーバイ

インテリア京急

ユウ建築設計事務所

株式会社アールイーライフ

トウシンハウジング株式会社

株式会社クロセア

株式会社富士消毒

カフェ運営協力

中丸町内会
下和泉地域ケアプラザ
Cozy kitchen
ハートフルポート
コミュニティカフェ ブルーベル
珈琲園
カフェ備品を提供して下さった皆様
ハピネス
(順不同)

かけはしボランティア募集



かけはしの活動は、ボランティアのみなさまに支えられています。
「ただ、そばにいてくれる」それだけで、こどもたちの心はあたためられています。
ご興味ある活動を、ぜひ一緒に楽しんでいただけたらありがたいです。

まなべるいばしょかけはしボランティア



こどもたちが安心して
居場所をつくるた
め、こどもたちの思い
を応援する伴走者とし
て一緒に活動する。

地域の居場所・学習支援ボランティア



こどもたちが宿題や
自主学習に取り組む
場での、学習支援。
高校生や大学生、
大歓迎！

わくわくのうえんボランティア



土づくり、畝作り、
植え付け、草取り、
収穫のお手伝い。

かけカフェボランティア



コーヒーや軽食の提供、
お客さまとのおしゃべり
など、地域カフェ運営の
お手伝い。

ホームページのボランティア募集からも、お申し込みいただけます。 <http://kakehashi.link>



「かけカフェ」クラウドファンディング

地域カフェ「かけカフェ」の活動予算の一部を、クラウドファンディングで補おうと考えております。
特設サイトを開設する予定ですので、応援していただければ幸いです。

賛助会員・協賛のお願い

かけはしの趣旨に賛同し、活動を応援してくださる賛助会員
(個人・団体)、ご協賛いただける企業さまを募集しています。
みなさまからのあたたかい出資金が活動資金となり、こどもたち
の今と未来、そして、まだ知らない自分や社会とをつなぐかけはし
となります。

お振込先 「横浜銀行」
店番：354 支店名：和泉支店
預金種別：普通口座 口座番号：6187917
口座名義：一般社団法人かけはし 代表理事 廣瀬貴樹

編集後記

かけはしんぶんは、
かけはしに参加しているお
子さん、保護者の方、ボラ
ンティアさん、スタッフ
で、力を合わせて、楽しみ
ながら作りました。
みなさまへの感謝と、あた
たかな場の空気感をお伝え
できれば幸いです。

お問い合わせはこちらまで info@kakehashi.link 090-2252-1080(代表 廣瀬貴樹)

2021年2月21日、一般社団法人かけはし 理事 岩瀬正幸 先生が、ご逝去されました。
岩瀬先生は、これまで長きに亘り、小学校教員として、また、かけはしの特別講師として、こどもたちのため
にご尽力されました。これまでのご功績に対する深い尊敬と感謝の念とともに、心から哀悼の意を表します。